

ゼロから始める受験勉強その1

音声はこちら <https://xn--uort9ofmvtz9a.jp/zero/zerokara001.mp3>

このレポートは、MARCH 以上、上智大学、早稲田大学、慶應義塾大学、そして東京外国語大学等を目指す文系受験生を対象としています。

最近、「何から始めればいいですか？」とか「おすすめの参考書教えてください。」という質問を頻繁にいただくようになりましたので、作成しました。参考にしてください。

まずは過去問をちら見しよう。そして点数配分を頭に入れよう。

多くの場合、英語の配点が高くなっているはずですが、**もっとも重要で配点の高い英語の読解から仕上げることを第一に考えましょう。**それまでは他の科目はとりあえず放っておきましょう。ここで下手に他の科目のことを考えると、なかなか伸びなくなります。

英語の読解は英単語、英熟語の暗記から。

それから読解に必要な英文法を叩きこみましょう。

単語集はどれも基本的には変わらないので、なんでもいいですが、おすすめは『システム英単語』や『ターゲット 1900』等のリスト型の英単語です。文の中で覚えたほうが良い等様々な言説がありますが、この後死ぬほど英文を読むことになるので、気にしないで OK です。

ひとまず一単語につき、1つの意味でいいので、どんどんみて覚えよう。

暗記全般に言えることですが、とにかく回数を稼ぐことを目標にしていきましょう。高速でぶん回していたら気づいたら覚えていたというのがあるべき姿です。学校で単語帳が配られている場合は、まずそれをしっかり覚え込みましょう。なおスペルは基本的にはかけなくてOK。大学受験では書かせることが多くないですし、そもそも英作文は自分が自信のある表現、超基本的な中学レベルの英語で書くのが基本姿勢です。

ただし、中学レベルの英単語に不安がある場合は、その都度書いて、かけるようにしておきたいですね。ただ、ひたすら回していると基本的にスペルも覚えちゃうので、自分の潜在意識を信じて、そのくらいの回転数を目指していきましょう。

目安は80回です。

英熟語も同様にガンガン見ていきましょう。『解体英熟語』か、レベルが高すぎる場合は『ターゲット1000』。ここでも長文を読む中で覚えた方がいい等諸説ありますが、気にしないでとりあえず意味を言える状態を作ることが大切です。

やるべきことは熟語の意味を覚えること。そこに集中！複数のことを同時にやるのは結局中途半端になりがちだし、だいたい途中で投げ出したくなります。

単語と熟語は一時期に集中して暗記した後は、1秒1単語くらいのペースで毎日1冊の半分くらいは見て、メンテナンスをしていきましょう。(つづきは作成中)